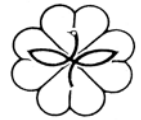




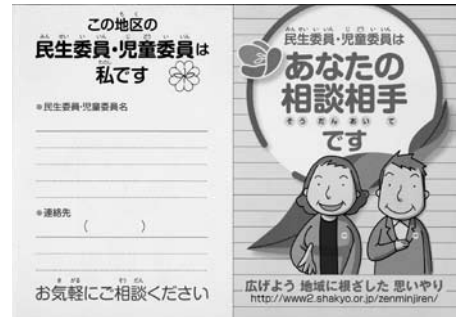
「広げよう、地域に根ざした思いやり」



5月12日は、民生委員・児童委員の日です。

この日から活動強化週間として、担当地区の民生委員・児童委員が各家庭を訪問し、PRカードを配布します。(お留守のお宅には、ポストに入れさせていただきます。)

ご近所付き合いが希薄になっている昨今、様々な事が起きています。人と人とのつながりの大切さを改めて実感し、地域関係機関と連携をとり支援活動に協力していきます。



人権 それは愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815



今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第18集 -」の作品の中から、小学校4年生の作品を紹介します。

初めてのけんか

私は、三年生の時、友達六人で遊ぶことになりました。みんなで集まった時、Cさん、Dさん、Eさんの三人は、別の場所で何かし始めました。私とAさんとBさんの三人は、それを待っていました。やっと、Cさん、Dさん、Eさんが来た時に、「もう、帰る。」と、Bさんはおこったように言いました。「何で。」とCさんが、聞き返しました。「Cさんの家で遊ぶはずなのに、三人がちがう所に行って遊んでるんだもん。」とBさんが言いました。

そこでCさんとBさんが、言いあいをしてしまいました。「時間が、もったいないじゃん。」「何まだ、Cさんの家にも行ってないくせに。」私とAさんは、何も言えませんでした。Eさんが、「どうするの。」と聞きました。私とAさんとBさんは、「帰る。」と言って帰りました。DさんとEさん以外、私達は、「時間が、もったいない」、たったそれだけの事で、けんかをしてしまいました。

その日の夜、私は、心の中が、とても暗くなりました。それは、友達にもものすごく、強く言われたのは、初めてだからです。お母さんとお父さんに、「けんかしちゃった。」と言いました。お父さんは、「みんなの気持ち、ばらばらだったから、けんかをしちゃったんだね。」次の日、あやまろうと思ったのですが、結局できませんでした。Bさんは、自分から、あやまったそうです。翌日から、Cさんを避けるようになりました。会った時も、なるべく顔を見ないようにしました。

けんかしてから、何日かたった日、友達Fさんから、「Cさんが、あやまりたいって。」と伝言が、ありました。休み時間の時に、Cさんと私とAさんは、おたがいにあやまりました。「ごめんね。」「ごめんね。」私は、あの時のけんかをまだ、覚えています。今思い出しても、いやな気分になります。みんなが、自分の気持ちを、上手に伝えることが、できるようになったからだと思います。私は、これからもし、友達とけんかをしてしまっても、さげたりしないで、きちんと、自分の気持ちを伝えるように、したいと思います。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。